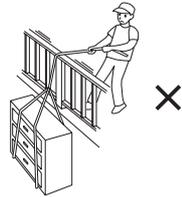
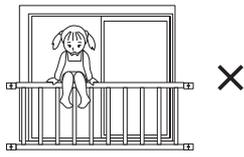


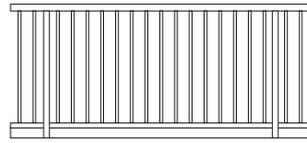
手すり

■ 手すりの取扱い

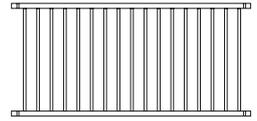
■安全のため、下記の事項は必ずお守りください。



バルコニー手すり



窓手すり



▲ 注意

1. 手すりの上に乗ったり、身を乗り出したりしないでください。思わぬ事故やけがにつながります。
2. 手すりにロープを掛けて、荷物の上げ下げをしないでください。手すりが破損し思わぬ事故やけがにつながります。
3. 手すりの廻りに踏み台になるようなものを置かないでください。思わぬ事故やけがにつながる可能性があります。

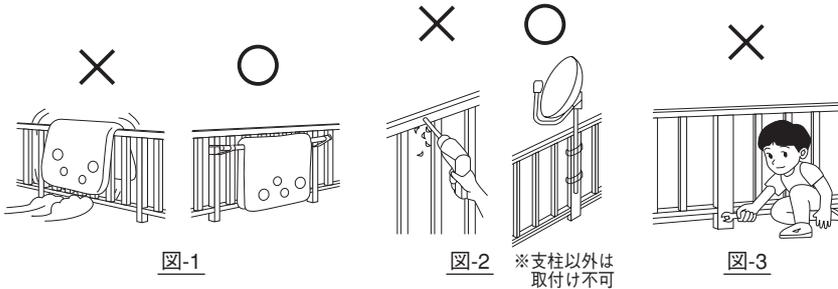


図-1

図-2

※支柱以外は
取付け不可

図-3

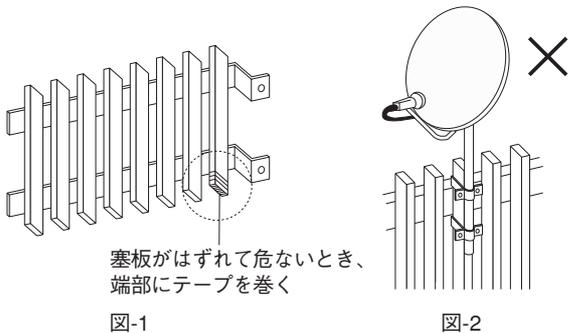
お願い

- ❗ 布団を干す場合は、専用の布団干し（市販品）を使用してください。布団を手すりに直接掛けると、風にあおられて落下する恐れがあります。（図-1）
- ❗ 手すり本体には穴をあけないでください。パラボラアンテナなど、他の器具を手すりに取り付ける場合には、穴をあける必要のない金具を使って支柱に取り付けてください。（図-2）
- ❗ ボルト・ナット・ねじなどは、決してゆるめないでください。手すりが外れる恐れがあります。（図-3）

面格子

■ 面格子の取扱い

■安全のため、下記の事項は必ずお守りください。



塞板がはずれて危ないとき、
端部にテープを巻く

図-1

図-2

▲ 注意

1. 人が乗ったり、ぶら下がったりしないでください。面格子が落下したりすると、事故やけがにつながります。

お願い

- ❗ 面格子本体には穴をあけないでください。パラボラアンテナなど、他の器具を面格子に取付けたりしないでください。（図-2）
- ❗ ボルト・ナット・ねじなどは、決してゆるめないでください。面格子がはずれる恐れがあります。（ゆるんでいる場合は、締め直するか、またはメーカーの担当窓口へご連絡ください）
- ❗ 面格子端部のふさぎ板がはずれて、ぶつかるおそれがあるような場合は、早めにメーカーの担当窓口へご連絡ください。応急処置の方法としては、人が接触するようなところではテープなどを巻いておくなどの方法があります。（図-1）